令和 6 年度 きだっこえん 園評価表

A･B･Cの3段階評価です。A…よくできている B…ほぼできている C…努力が必要

1 保育の理念･方針･目標

1	保育所保育指針と保育理念･方針･目標を職員が理解している。	A･Ⓑ･C	【特記事項】 保育指針については、個々に任せているが、日々の保育には生かされている。 保護者へは入園児にしおりにて周知しているが、掲示等でも周知していく。
2	保育理念や方針･目標を職員や保護者等に周知するための取り組みを行っている。	A･Ⓑ･C	
3	職員の仕事や役割が明確であり、それぞれの仕事を責任を持って行っている。	A･Ⓑ･C	

2 保育内容

1	保育所保育指針･保育過程に基づき、子どもの実態に即した指導計画を作成している。	A･Ⓑ･C	【特記事項】 保育内容について職員間の共通理解をはかるため、一年目の見直し、確認をしていった。 きだっこえんの基本方針を確立し保育内容に生かしていく。
2	各年齢の発達段階を理解し、それぞれの年齢に合った指導計画であり個々の発達にも留意したものを作成している。	A･Ⓑ･C	
3	保育の計画、評価、反省を常に行い、より良い保育を目指している。	A･Ⓑ･C	
4	保育士は、自らの保育実践を振り返り評価し、専門性の向上や改善に努めている。	A･Ⓑ･C	
5	子ども一人一人の主体性を大切にした保育をしている。	Ⓐ･B･C	
6	子どもの気持ちを理解し、信頼関係を築いている。	Ⓐ･B･C	
7	素材･用具を適切に活用している。	A･Ⓑ･C	
8	職員間で子どもへの理解を深め、お互いの考えを十分に理解したうえで保育を行っている。	A･B･Ⓒ	

3 安全･環境

1	環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫している。	A･Ⓑ･C	【特記事項】 計画に沿って訓練を行ったり、備えのために備品を購入した。 今後、誰もが適切に対応できるようにしていく。
2	子ども達が日々過ごすための安全な環境や適切な衛生状態に努めている。	Ⓐ･B･C	
3	園内外の安全点検を定期的にしている。	Ⓐ･B･C	
4	毎月避難訓練を行い、非常時に避難誘導できる体制をつくっていく。	Ⓐ･B･C	
5	火災･地震･不審者侵入等の危機管理に意識を持ち、緊急時に対応できる体制が整えられている。	A･Ⓑ･C	
6	事故や災害に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	A･Ⓑ･C	

4 健康

1	健康診断を定期的に実施し、子どもの健康状態を保護者や職員に伝達し保育に反映されている。	Ⓐ･B･C	【特記事項】 感染症流行時は体調管理に留意し保護者に注意喚起をお願いしたり、休養を取ってもらえるようにした。
2	感染症の予防対策やマニュアルが用意されている。	A･Ⓑ･C	
3	玩具･遊具等は常に衛生的に保持している。	Ⓐ･B･C	

5 食事

1	食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせて食育計画を立てている。	Ⓐ･B･C	【特記事項】 野菜の種まきから収穫したものを食したり、園児の好きなレシピを掲示したりしていく。 食物アレルギー児に対して、誤食が起こらないように、マニュアルの徹底を行った。
2	栄養士、保育士が連携し、会議等で意見を交わしながらより良い給食になるよう努めている。	Ⓐ･B･C	
3	旬の物や季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている。	A･Ⓑ･C	
4	食物アレルギーのある園児には適切な対応をしている。	Ⓐ･B･C	
5	発達に合わせた食事の介助を適切に行い、落ち着いた雰囲気で楽しく食事ができるように工夫している。	A･Ⓑ･C	
6	子ども達が育てた収穫物等を調理し、食材への関心や食べる意欲を育てている。	A･Ⓑ･C	

6 保護者対応･情報

1	保護者に対して丁寧な言葉遣いと、気持ちの良い対応を心掛けている。	Ⓐ･B･C	【特記事項】 アプリからの連絡内容については喜ばれている。 行事の時は個人だけでなく、クラス単位で写真を掲示した。今後も、保護者の意見に耳を傾けていく。
2	園だより、クラスだより、掲示板、ホームページ等を通して、保育内容や子どもの姿や保護者への情報を発信している。	A･Ⓑ･C	
3	苦情解決の仕組みを掲示し、適切に対応している。	Ⓐ･B･C	
4	個人懇談会等で保護者との連携を図り、園児を理解するよう努めている。	Ⓐ･B･C	

7　地域との関わり・開かれた保育

1	気になる子どもの対応について、外部の専門機関と連携をとりながら対応している。	Ⓐ・B・C	【特記事項】 気になる子については継続して保健師と連携を図ったり、2歳児については転園先と連絡を取り合いスムーズに3歳児へ移行できるようにした。
2	関係機関と連携を図り、有効な対応に努めている。	Ⓐ・B・C	
3	地域の関係機関と交流をする機会を設けている。	Ⓐ・B・C	

8　子育て支援

1	地域で子育てをしている親子の交流の場となるように努めている。	A・B・Ⓒ	【特記事項】 保護者参観を通して、保護者間の交流が出来ていると感じる。色々な機会を通し保護者間の交流が図られるよう努めていく。
2	子どもの心身の発達や育児不安について気軽に相談できるように努めている。	A・Ⓑ・C	

9　事務管理・運用・守秘義務

1	職員間で常に報告、連絡、相談の体制が機能している。	A・Ⓑ・C	【特記事項】 クラス担任間の打ち合わせができる様に勤務を検討したり、職員間の連絡が行き届くようにした。平日の打ち合わせの時間を取るために時間を有効に使えるようにしていく。
2	職員に園内で知りえた事柄に対しての守秘義務を周知徹底している。	Ⓐ・B・C	
3	子どもの個人記録は、個人情報保護法に基づいて管理している。	Ⓐ・B・C	

10　研修・組織

1	園内外の研修は計画を立て実行している。	A・B・Ⓒ	【特記事項】 研修の機会はあったものの、勤務体制が整わず行けなかった。 また、他のクラスの保育について意見交換が十分でない。お互いの保育観を尊重し自由に意見が述べられる組織作りに努めていく。
2	保育に関わる様々な知識や技術の向上に努め、悩みや疑問を解決するため、研修に参加したり専門性を読むなどして自己研鑽を積んでいる。	A・B・Ⓒ	
4	園長・主任・保育士の業務負担を明確にしている。	A・Ⓑ・C	
5	職員相互場それぞれの立場を理解し、園運営にかかわっている。	A・Ⓑ・C	